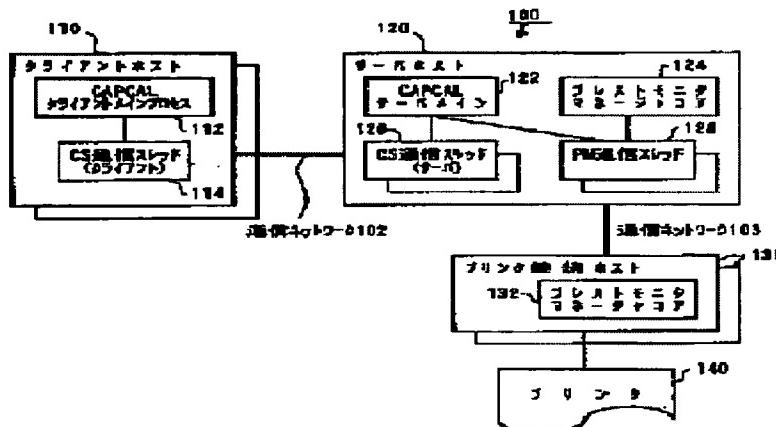


MicroPatent® PatSearch FullText: Record 1 of 2

Search scope: US Granted US Applications EP-A EP-B WO JP ; Full patent spec.

Years: 1971-2003

Patent/Publication No.: JP3282727 jp2000003258



JP2000003258 A

PRINTING SYSTEM

CASIO COMPUT CO LTD

Inventor(s): HATANO EIJI ; TSUTSUMI MASAKI ; WATANABE TAKAYASU
; AMARI TADAYOSHI ; SHINTO YUKIHIRO ; TAMURA KOJI

Application No. 10163986 JP10163986 JP, Filed 19980611, A1 Published
20000107 Published 20000107

Abstract: PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a printing system capable of imparting the failure information of a printer to a client host even after a printing processing is moved to a print processor when the printer for operating printing for the output documents of all applications on the system is turned into a state incapable of printing due to any reason at the time of printing.

SOLUTION: A breast monitor manager core 132 monitors the state and the completion of the printing processing of a printer 140. The situation information on a printing job obtained by monitoring is imparted through a PM communication thread 128 and a CS communication threads 114 and 126 to a client host 110. The client host 110 displays the error and the completion of printing of the printer

140 by a dialog box or the like based on information set in the received communication.

Int'l Class: G06F00312; B41J02938

Patents Citing this One: No US, EP, or WO patents/search reports have cited this patent. MicroPatent Reference Number: 000359199

COPYRIGHT: (C) 2000JPO

⑪ 公開特許公報 (A)

平3-282727

⑤Int.Cl.⁵G 06 F 3/12
15/00識別記号 庁内整理番号
310 K 8323-5B
R 7218-5L

⑥公開 平成3年(1991)12月12日

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全2頁)

⑦発明の名称 分散処理における汎用印字制御方式

⑧特 願 平2-83450

⑨出 願 平2(1990)3月30日

⑩発明者 滝 口 昭彦	東京都港区芝5丁目33番1号 日本電気株式会社内
⑩発明者 堀 浩樹	大阪府大阪市東区北浜5丁目15番地 関西日本電気ソフトウエア株式会社内
⑩発明者 蔭 山 明生	大阪府大阪市東区北浜5丁目15番地 関西日本電気ソフトウエア株式会社内
⑪出願人 日本電気株式会社	東京都港区芝5丁目7番1号
⑪出願人 関西日本電気ソフトウエア株式会社	大阪府大阪市東区北浜5丁目15番地
⑫代理人 弁理士 内原 晋	

明細書

1. 発明の名称

分散処理における汎用印字制御方式

2. 特許請求の範囲

印字端末装置に各種帳票を印字出力するシステムにおいて、印字制御符号を含めた形式の印字データを補助記憶装置に格納し、前記補助記憶装置より前記印字データを読み出して指定の印字端末装置に出力し、同時に任意の印字端末装置に出力し、障害時には任意の位置から再出力することを特徴とする分散処理における汎用印字制御方式。

3. 発明の詳細な説明

〔産業上の利用分野〕

本発明はオンラインプログラムにより各種帳票を印字端末装置に印字する制御方式に関する。

〔従来の技術〕

従来、印字端末装置に帳票の印字を行なう際は

各々の帳票の種類やレイアウトによりオンラインプログラムが必要となっている。更に、複数のオンラインプログラムが同一印字端末装置を共有し同時に印字を行なう場合、排他制御を考慮してプログラムを作成しなければならない。印字装置の障害時についても、データ保存に関して各々のプログラムで対応が必要になっている。

〔発明が解決しようとする課題〕

上述した従来の方式では印字の為のオンラインプログラムが個々に必要になるばかりでなく、個別に排他制御を行なわなければならない上に、障害時に対してもプログラムでデータ保存の処置がなされていないと印字データの破壊が発生するという欠点がある。

〔課題を解決するための手段〕

本発明の分散処理における汎用印字制御方式は、印字端末装置に各種帳票を印字出力するシステムにおいて、印字制御符号を含めた形式の印字データを補助記憶装置に格納し、前記補助記憶装置より前記印字データを読み出して指定の印字端末装

置に出力し、同時に任意の印字端末装置に出力し、障害時には任意の位置から再出力するようにして実現される。

〔実施例〕

次に、本発明について図面を参照して説明する。

第1図は本発明の一実施例の構成概要図である。同図において11～1nは配信ファイル作成プログラム、2は配信ファイル、3は分散汎用印字制御プログラム、41～4nは印字装置をそれぞれ示す。配信ファイル作成プログラム11～1nはそれぞれのデータファイルを読み取り、制御符号を付与し配信ファイルに出力する。配信ファイル作成プログラム11～1nは、バッチ処理で帳票の種類分必要になり、各プログラムは排他的に動作する。

利用者は印字装置に印字を要求する時、分散汎用印字制御プログラム3に指示を与えることにより、印字装置41～4nに印字が開始される。この時、印字装置41に出力要求し同装置に障害が発生した場合には、他の印字装置に代替印字が可

能となっている。配信ファイル作成プログラム11～1nが配信ファイル作成後に障害等により印字が出来なくなった時でも、配信ファイルが作成済ならば前回の印字データは保障される。

〔発明の効果〕

本発明は帳票イメージの作成プログラムと遠隔地の印字端末装置へ出力するオンラインプログラムとを分離でき、帳票毎の個別なオンラインプログラムの作成は必要ない。更に、再出力・出力保留・出力先変更等の機能を利用する事により、印字端末装置の共有化有効利用、操作性の向上を図ることが出来る効果がある。

4. 図面の簡単な説明

第1図は本発明の一実施例の説明図である。

11～1n……配信ファイル作成プログラム、
2……配信ファイル、3……分散汎用印字制御プログラム、41～4n……印字装置。

代理人 弁理士 内原 晋

- 3 -

- 4 -

第 1 図

